

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で職場全体の理念と各ユニットで作成した理念を唱和し理念に基づく運営方針を盛り込んだ「行動手帳」も各1頁ずつ唱和し互いに意識し理念を共有し日頃のケアにつながるよう取り組んでいる。理念もご利用者様やご家族様にもわかるように、共有スペースと入口に提示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中間地区の町内会へ加入していますが、新型コロナ禍の為、中間地区の町内会での行事が開催されていない為、交流が出来ていない状況です。交流の再開しましたら参加したいと思えます		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の町内会の話し合い（総会、協議会）への参加日常的にも地域の住民との交流をコロナ禍においても、限られた中で情報の提供や情報収集をしやすい状況作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御家族に対して年2回アンケートを実施している。回答しやすいように無記名回答とし返信用封筒を同封している。頂いた意見や事故やヒヤリハットの情報についても、家族会や運営推進会議にて情報を共有し、話し合いを行い改善を図りサービス向上へ活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	会合などの案内があった際には積極的に参加しています。又ホームページなどを閲覧し、閲覧した情報は他のスタッフへも情報を共有しサービス向上に努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束等適正化のための指針」を定め、年間計画にそった社内研修にて身体拘束廃止の研修を行い、研修を通して身体拘束に対して理解を深め身体拘束ゼロに向けて取り組んでいます。施設の施錠は日中はしてないが、20時以降は防犯のため施錠をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間の計画で定め各ユニットミーティングにて主任・副主任を中心に定期的に虐待防止の研修を行い理解を深めて頂いて虐待防止に職員全員で取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間の計画で定め各ユニットミーティングにて主任・副主任を中心に定期的に域福祉擁護事業や成年後見人制度について学び取り組んでいます。ご利用者様が必要な方には活用できるように支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、十分な説明を行い、不安や疑問点を伺い納得された上で契約を進める様に留意しています。契約後も不安や疑問に思う事があればいつでも伺えるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様から日々の生活の中で対話する中で、自然なかたちで利用者の思いを引き出せるよう努めている。また、年2回のご家族様へのアンケートの実施や面会の際などに家族との話をする中で意見や要望を聞いたり意見などあればいつでもお電話で意見を伺えるようにしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回、自己評価（自分の意見を書くところに書いたり）や3者面談等で意見や要望を聞いています。必要に応じて個別の相談はいつでも聞く機会を設け応じている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日頃から職員とのコミュニケーションに努め職員が働きやすい環境の整備に努めています。給与は資格だけを考慮して決めるのではなく、職員本人の努力や、実績、勤務状況、自己評価を考慮したうえで決める体制にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>大人数での社内研修は難しいので各ユニットミーティング後に小規模での社内研修を行いケアの質の向上を図っています。さらに、新人職員にはケアの質の向上を目指し個別にケアの方法など働きながら教えています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>個別での相談や、ケアを教えたりしサービスの質の向上に努めている。管理者・職員との話をする機会を設けるなどして意見や要望を伝えたり、相談しやすい環境づくりを心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様やご家族様には入所前に必ず見学して頂き、スタッフもご自宅や入院先へ訪問を行うようにしている。ご本人様やご家族様に一つ一つ説明し納得して入居してもらい、本人の不安や要望をよく聞き安心して頂けるようによる関係づくりに努めている。また他の介護保険サービスの説明をするように心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様についても上記同様、納得して頂いたうえで利用してもらえるよう十分な話し合いに心掛けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様にとって、今一番何が必要な支援か、方法や内容を共に考え、対応に努めている。毎日の申し送りや随時、ミーティングを行い、ケア手順書を用いて職員間の情報の共有を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人様との対話を通じ関わりを大切に、ご本人様の好きなこと、得意なことを引き出し、長年の技や知恵などを教わるなどして、本人の人格を尊重しながら過ごすよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様からお電話があった際には、本人の近況報告を行っている。また、日々の様子を知ってもらえるように「ショコラ便り」にお手紙と写真を添えて定期的にお知らせしたり、電話連絡等を行っている。本人と家族の絆を大切にしながら良い関係が保てるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍以前は、家族などに年間行事の案内（外出レクレーション・誕生日会）をし出来るだけ馴染みのある方々に参加して頂いておりましたが、コロナ禍の為、「ショコラだより」にて写真を添付してお伝えし馴染みとの関係が途切れないように支援を努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性や関係性等に配慮し共有スペースでの席の位置を変えたりし心地よい時間を過ごして頂けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了された後もお手紙などを出して関係が切れないように努めています。サービス終了時の情報提供や、またその後も必要な方には継続的な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人ひとりの思いや希望などの把握に努め、生きがいのある、その人に寄り添ったその人らしい暮らしをご家族様と連携し取り組み、趣味や家事（食器拭きや調理レク、洗濯物タタミ）への取り組み等、個別の支援にも努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のこれまでの暮らしをご家族様や前施設から情報を収集し、状況や状態細かく把握しスタッフ間での情報の共有します。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の朝礼時の申し送りや定期的なミーティングを行う中で、ご利用者様の心身の状態や状況を話し合い把握し今後のより良いケアに活かしていく。ケア手順書を用いてケアの統一に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の日頃の様子を把握し、ご家族様の意向も聞き、回診・訪問看護の際にご相談を行い、また担当者会議の中でも職員も意見を出し合いながら、ご利用者様がより良く暮せるように介護計画の作成を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の中での様子や気づきを大切に、ケア手順書や個別の記録も見ながら職員間で情報共有し介護計画の見直しに活かし実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人様や御家族様の状況に応じて、建物内に通い、近隣には小規模多機能施設やクリニックを活用し柔軟な支援やサービスができるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者・地域消防施設隊員を交えての消防訓練を年2回行っている。地域に開けた施設をめざしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>適切な医療を受けられるように御本人様及び御家族様の意向を第一に、かかりつけ医の選択を行っている。受診の際は御家族様同行を基本としているが、必要時には御家族様の了承のもとで職員が同行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週の訪問看護にて看護職員に気付いた事を伝えて相談し適切な受診や看護を受けられる環境作りに努め医療連携を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	協力医療機関との連携を図り緊急時すぐに受け入れ体制を整えてもらえるようにしている。入院中の面会、ソーシャルワーカーとの情報交換や相談、退院後の情報提供や相談に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合などの対応について、入所される前などに本人や家族からの希望聞き第一に考え、話し合いを行い、事業所で出来る事を十分に説明し納得された上で「緊急時の対応及び看取りに関する指針」に基づき方針を定めている。重度化の方に対しては、年1回の指針の説明と手続きを行う。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	応急手当や初期対応の訓練を施設内で研修を行っている。緊急時対応のマニュアルを掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防訓練においては、様々な状況を想定しての訓練に取り組み防災への認識の共有をしている。地震を想定した訓練を行った。コロナ禍でなければ地域の方々への協力し訓練へ参加して頂きたい状況でした。今後とも地域の方々とは日頃からお付き合いを大事にして緊急時には協力を得られるよう働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御本人様の人権を尊重する言葉掛けでは、目線を同じ高さにし丁寧な言葉かけを行いプライバシー確保と人格の尊重に配慮したケアを行っている。定期的な勉強会にて接遇の勉強会を行い、ケアの向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人様との関わりの中で普段から会話を心掛け希望や思いを引き出せるような環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操・公文式等一日の流れを作りながら、入居者様1人ひとりの状態を見ながら無理をせずにご本人様のペースを大切に過ごして頂き職員本意のケアにならないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ホームへの出張カットを利用したり、行きつけの美容室へご家族様と行ったりと、本人及び御家族様の希望に沿った方針で支援している。必要な洋服などは、御家族様へお願いし購入して下さる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「食べたい」と食欲がでる見た目からも思ってもらえる様な盛り付けを工夫している。ご入居者様の誕生日には希望のメニューや季節の行事には特別メニューを設けて食事を通じて季節を感じて頂き食事について興味を持ってもらえるようにしております。調理レク(冬場は月に1回、鍋料理)を行い、皆様と一緒に作ることにしております。年に数回ですが海鮮丼の日を設けて食事を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は、管理栄養士にて1週間ごと作成されカロリー計算されており、摂取量の記録と月に2回の体重測定を実施している。また、入居者様の嚥下状態に合わせて食事形態の工夫や、介護用食品も取り入れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施している。自立されておられる方も1日1回は職員による口腔ケア（義歯清掃）を行い、口腔内を確認するようにしています。夜間は義歯洗浄剤による義歯洗浄を行っている。必要に応じて歯科往診を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ案内を行い、一人一人の排泄パターンを把握し、御本人様に気持ち良く排泄してもらえるように支援し、毎月のパット購入費・使用枚数にも注意し、御本人様に合ったパットを随時検討を行っている。排泄の自立されている方に対しても羞恥心に配慮し見守り・確認を行い清潔保持に努める。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には主治医との連携を図り内服薬を処方して頂いたりします。水分摂取や体操・立ち上がり運動や廊下歩行など行い腹部の蠕動運動を刺激し、毎日の朝食にヨーグルトの摂取やアルカリイオン水の飲用や植物繊維を積極的に取り入れるなどし便秘予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に入浴日は週3回（月・水・金）は決まっているが、他の部署との協力をして頂いて他の日でも入浴行っています。必要に応じて、手浴・足浴・清拭も実施している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの年齢やその日の身体状況（眠気が強い・夜間不眠等）に応じて時間を見ながら臥床を行っている。お昼寝は御本人様に確認の上、休息の時間を支援している。夜間は一人一人の入眠の時間に合わせて対応・支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局から届けられた薬を薬の説明書と確認し内服変更がある際にはその都度申し送りなどで情報を共有しご入居者様ごとの個人ファイルへ保管している。利用者の変化に職員全員で気付けるようにしている。服薬の際には、職員二人でのダブルチェックを行い支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の日課となる新聞の閲覧、食事の盛り付けや片付け、洗濯や掃除などそれぞれの役割をもって頂く為の支援を行っている。園芸や壁面作成、趣味を活かして興味を持って頂けるように支援を行っている。階段昇降や外気浴を行い気分転換も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症予防の為、外出は自粛しています。病院受診へ、ご家族様と外出された際に少しかご家族様とのひと時を過ごされています。その際も外食や大人数のいる場所へは行かないようお願いしています。コロナが落ち着いて参りましたら天気の良い日などには、気分転換や体力作りを兼ねて、一緒に出る機会を作るようにしていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご入居者様の希望もあり、御家族様との話し合いにて御本人様の力量を踏まえ一定の金額を所持・本人様に管理して頂く支援を行っている。御本人様より希望があった際は職員が同行し近隣のお店へ買い物へ出かけ、支払いの見守り・支援を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、自粛致しております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>贈り物があった際には御本人様からお電話を出来る様に支援を行い、季節のお便り（暑中見舞いや年賀状）を書く機会を設けている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地のよい空間作りの為、季節を感じられる壁面の飾りつけやお花を飾ったり、ご入居者様に居心地のよくすごせるよう工夫しています。掃除の際には刺激臭のある洗剤（ハイター等）は最低限の量を使用し臭いに配慮し、ケアの際の声かけの大きさや洗い物など際に茶碗のぶつかる音など不快な音をたてない様に心がけている。トイレ内は清潔を保ち、床のゴミ拾いなど汚染時はその都度掃除を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1人になりたい際にはお部屋で過ごされたり、共用空間でも一人一人好きな場所で思い思いに過ごせるように支援を行っている。テーブル席やソファであったり、その日の気分やお好きな様に自由に過ごして頂ける様に支援を心がけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者様がご自宅で使用されていた馴染みの家具や装飾品を居室へ配置して御本人様が居心地良く過ごせるように支援を行い、ご希望があれば畳敷きの部屋にしたりベッドの配置を変えたりと工夫し居心地の良く過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「安全で使い易い」を念頭において、トイレや浴室に手すりをつけている。動線には物を置かず、安全に歩行出来るように支援を行っている。各居室入り口にはネームプレートや貼り絵で、確認して頂ける様に支援を行っている。トイレも分かり易い大きな文字で表示を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない